

2026～2027 SHIKI WEEKLY

国際ロータリー 第2570地区 第2グループ



持続可能な
インパクトを
生み出そう

志木ロータリークラブ

2026-27年度 国際ロータリー 会長 オラインカ・ハキム・ハバロラ 「CREATE LASTING IMPACT」
2026-27年度 第2570地区 ガバナー 原島 生慈 「ロータリー活動に誇りを！」
2026-27年度 志木ロータリークラブ 会長 國分 学 「志木 SHIKIプライド」

第2480回 例会

2026-9-2

- ◎司会 末富 啓道 副会長
- ◎点鐘 國分 学 会長
- ◎ソング 君が代・奉仕の理想
- ◎ソングリーダー 高橋 良 会員
- ◎四つのテスト 高橋 良 会員
- ◎ゲスト 小澤 理市郎 様(合同会社鋳型研究所 代表社員
一般社団法人タガヤス 代表理事)



ソングリーダー・四つのテスト 高橋 良 会員



9月という月に関わるロータリーの歴史とテーマについて少し触れさせていただきたいと思います。

歴史を振り返りますと、今から 87 年前の 1939 年 9 月 1 日にヨーロッパで第二次世界大戦が勃発し、1945 年 9 月 2 日に終結を迎えました。世界が深い分断と混乱に包まれたこの時代においても、世界中のロータリアンたちは「平和と国際理解」の灯を絶やすことなく、人道支援に尽力し続けました。この世界平和への強い願いが、現在のロータリーによるポリオ根絶活動や平和フェロシップといった大きな奉仕へと繋がっています。

そして、国際ロータリーが定める 9 月のテーマは「基本的教育と識字率向上月間」です。我が志木ロータリークラブでも、青少年奉仕委員会を中心に「志木いろは子ども文化賞」への協力や細田学園インターアクトクラブへの支援など、地域の子供たちの未来を支える活動を大切に継続しております。

教育や支援を通じて未来に希望を灯すこと。それこそが、ババロラ RI 会長の掲げる「持続

「会長挨拶」

会長 國分 学

皆様、こんばんは！暦の上では 9 月に入りましたが、日中はまだまだ厳しい残暑が続いております。本日もお仕事上がりのご多忙な時間帯に、元気に例会へとお集まりいただき誠にありがとうございます。

季節の変わり目は、夏の疲れが知らず知らずのうちに体に現れやすい時期でもございます。会員の皆様におかれましては、どうぞご無理をなさらず、本日も温かい仲間との会話でリフレッシュしていただければ幸いです。

さて、本日「9 月 2 日」という日付、そして

9 月 は 「 基 本 的 教 育 と 識 字 率 向 上 ・ ロ ー タ リ ー の 友 月 間 」 で す

可能なインパクト」であり、私たちが目指す『志木 SHIKI プライド』の姿であります。

先人たちがどんな時代も平和と地域社会のために情熱を注いできたように、私たちもこの志木の街で手を取り合い、誇りを持って楽しく活動を進めてまいりましょう。

それでは、本日の夜間例会もどうぞよろしくお願いいたします。

日時：2026 年 9 月 20 日（日）

13 時受付 13 時 30 分開始

場所：東松山市民文化センター大会議室

○公共イメージ向上委員会 インスタグラム活用セミナー開催案内

日時：令和 8 年 10 月 3 日（土）9：30～

11：30

場所：ウエスタ川越 2 階会議室 1

3. バギオだより 2026 年 9 月号 vol. 116

「理事会報告」

会長 國分 学

- 1) 交換留学生について
- 2) 川と街をきれいにする運動の日程変更
10 月 24 日(土)→10 月 25 日(日)
- 3) 親睦旅行について
2027 年 6 月 6 日(日)～8 日(火)
- 4) 十文字学園女子大学、星野副学長参加について
- 5) 9 月 16 日(水)いろは文学賞選考について
- 6) 富士見 RC 親睦夜間例会について
10 月 16 日(金)17：30～
- 7) 市民まつり協賛金について
- 8) 子育てネットワークとの協力について
12 月 20 日(日)にクリスマスのイベントを開催予定 地区補助金 1,200 ドル使用
- 9) 細田学園インターアクト助成金 8 万円
- 10) 次年度ガバナー補佐の件
國分会員を推薦
- 11) 今後の人事について

「入会式」



國分会長より岩下新会員へバッジとネームプレートの授与が行われました。

岩下 悟朗 新会員



ただいまご紹介いただきました岩下悟朗と申します。父が生前、多くの皆様にお世話になりましたこと、改めて御礼申し上げます。

父の背中を見てましたけども、ロータリークラブのことは何も分かりません。ゼロから学ばせていただきたいと思いますので、末永くよろしくお願いします。

「幹事報告」

幹事 影山 和良



1. 国際ロータリー日本事務局より 9 月のロータリー為替レート \$ 1 = ¥ 160 受信
2. 地区事務所より 2 件受信
○青少年交換プログラム派遣学生「帰国報告会」(第 2 回リエンテーション)のご案内

9 月 は 「 基 本 的 教 育 と 識 字 率 向 上 ・ ロ ー タ リ ー の 友 月 間 」 で す

「今月の誕生日」 親睦活動委員 戸國大介



18 日 末富啓道会員 19 日 佐藤豊名誉会員
30 日 神山威仁会員

「誕生日スピーチ」 神山 威仁 会員

今年 49 歳になります。40 代最後の一年を悔いなく過ごせるように、一年頑張っていきたいので、引き続きよろしく願いいたします。ありがとうございました。

「委員会報告」

●地区ロータリー希望の風奨学金委員 西川和人



「風の便り」最新号を本日お配りしましたので、ぜひご一読ください。6 月は 1,600 万円という大きなご支援をいただいております。

これは 2650 地区から年度末にお送りいただいたものです。現在 60 名の奨学生に毎月 5 万円を支給しています。7 月には 2570 地区・志木ロータリークラブの皆様からのご支援も加わりました。学生アンケートの結果も掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

●地区公共イメージ委員会 委員 内山雄二郎



地区公共イメージ委員会より、メイクアップ推奨デーのご案内です。クラブ間の交流を促進し、各クラブの活動を知る機会として新たに設けられました。今後、志木クラブでも他クラブの方が参加できる例会日を案内していく予定です。皆様も興味のある例会へ積極的にメイクアップしていただき、交流を深めていただければと思います。

「卓話者紹介」 國分 学 会長

本日は、浅田家本家の古民家再生に取り組みながら、地域のまちづくりにも尽力されている小澤理市郎さんをお迎えしています。志木を盛り上げるために欠かせない存在として、これまでの豊富な経験や興味深いお話を、30 分にわたりたっぷりとお聞かせいただきます。

「卓 話」

「空き家問題の本質と地域活性化の考え方」

合同会社鋤型研究所 代表社員

小澤 理市郎様

皆さん、改めまして小澤理市郎です。本日は、志木の本町にある浅田家本家の古民家再生について、そして、そこから見えてくる空き家問題や地域活性化について、お話しさせていただきたいと思います。

例会は変更になる場合があります。ご確認下さい
■富士見 RC 毎週(金) 12:30～ 島田ビル1F

第2グループ各 RC 例会日・会場一覧(順不同)
事務局 049-251-6596

2480-3◇
志木 RC 会報

9 月は「基本的教育と識字率向上・ロータリーの友月間」です



まず、「お前は何者なんだ」というところから簡単に自己紹介をさせてください。私は現在、「鋤型研究所」と「タガヤス」という二つの会社をやっています。「クワでタガヤス」という意味で、農業の研究をしているのかとよく聞かれますが、そうではありません。地域の課題は非常に複雑になっていますので、農具のクワで土を少しずつ丁寧に耕すように、地域の現状を丁寧に見て、分析し、課題を見つけ、一つずつ解決していく。そんな思いを込めた名前です。

鋤型研究所では理論や調査研究を行い、タガヤスでは全国各地のまちづくりの実践者とながりながら、実際の地域づくりを支援しています。私は以前、政府系の研究機関で、国の法律や制度、政策などに関わる仕事をしていました。ただ、机の上だけで考えるのではなく、現場に入って仕事をする機会も多く、水俣病の地域や、東日本大震災後の福島県などにも入り、地域の復興に携わってきました。そうした経験を経て、3 年前に自分の会社を立ち上げました。

そんな中でご縁をいただいたのが浅田家です。浅田さんが市役所や埼玉りそな銀行などにご相談され、私にも声をかけていただいたことが、このプロジェクトの始まりでした。

今日はまず、空き家問題について少しお話しします。日本では戦後、住宅が不足していたため、とにかく家を作ることが国の大きな政策でした。その結果、経済成長とともに住宅はどんどん増えていきました。しかし、ある時点から、世帯数が増えるスピード以上に住宅の数が増えるようになりました。その差が、現在の空き家につながっています。

現在、日本には約 900 万戸の空き家がある

とされています。そして、これから人口や世帯数が減少していくことで、空き家はさらに増えていくことが予想されます。埼玉県は首都圏のベッドタウンということもあり、現在はまだ人が流入していますが、人口減少そのものを止めることはできません。これから私たちの子どもたちの世代には、空き家問題がより大きな課題になっていくと思います。

ただ、私は「空き家が増えること」そのものが問題なのではないと思っています。きちんと管理され、地域の中で見守られている空き家であれば、数が増えても必ずしも怖いものではありません。逆に、放置されれば、草木が生い茂り、害虫や動物が住み着き、さらには犯罪や放火、倒壊などにつながる可能性があります。また、周辺の空き家が荒れてくれば、地域全体の景観が悪くなり、不動産価値にも影響します。

つまり、空き家問題は行政や所有者だけの問題ではなく、地域全体で見守り、管理していくことが必要なんです。

私はよく、「家は人間と一緒にですよ」とお話しします。家には一軒一軒違った個性があり、そこには長い年月、人が暮らしてきた思いや記憶が詰まっています。そして、不動産は個人の財産である一方で、まちの景観をつくるという公共性も持っています。だからこそ、単純に「売ればいい」「壊せばいい」という話ではないのだと思います。

その象徴が、今回の浅田家本家です。浅田家は明治初期から続く、築約 150 年の古民家です。最初に見たとき、この大きな建物を本格的に改修してホテルやレストランにするとすると、莫大な費用が掛かると感じました。また、閑静な住宅地の中に突然ホテルをつくり、大勢の観光客を呼ぶという形が、本当にこの地域に合っているのかという疑問もありました。

そこで私が考えたのは、いきなり何か新しいものを入れるのではなく、まず浅田家そのものをゆっくり目覚めさせることでした。

志木は宿場町から物流の町へ、そして住宅地へと、非常に速いスピードで姿を変えてきました。その中で浅田家だけが、長い間、時間が止まったような状態になっていました。だ

9 月 は 「 基 本 的 教 育 と 識 字 率 向 上 ・ ロ ー タ リ ー の 友 月 間 」 で す

からこそ、いきなり大きな改修をして経済活動を始めるのではなく、地域の皆さんと一緒に少しずつ修復し、志木のまちの時間の流れにそっと戻していこうと考えました。

去年は、子どもたちと障子を張り替えたり、油が抜けて白くなった木に天然の油を塗ったり、昔の道具を持ち寄って地域の皆さんと昔話をしたりしました。これは「改修」ではなく、「修復」だと思っています。壊れたものを新しくするのではなく、そこにあるものを大切にしながら、もう一度命を吹き込んでいくという考え方です。

そして、まずは子どもたちの居場所をつくろうということで、浅田家に駄菓子屋を入れました。子どもが集まれば、その親も集まり、おじいちゃん、おばあちゃんも集まります。そうやって自然に世代を超えたコミュニティが生まれてきました。プレオープンの日には、子どもたちが店に入りきれないほど集まってくれました。

私自身も土間の前にテーブルを出して仕事をしながら、そこに集まる子どもたちを見えています。自分のライフスタイルも少しずつ変わってきました。

では、「地域活性化」とは何なのか。私は、人と人とのつながり、そして人と地域とのつながりが強くなっている状態なのではないかと思っています。

私はよそ者ですから、いきなり志木の皆さんとのつながりをつくることはできません。だからまず、眠っていた浅田家という建物と地域の皆さんとのつながりをつくる。その中から自然に、人と人とのつながりが生まれてくればいい。これが、今回の浅田家再生の一番大切な考え方です。

今後は修復を進めながら、20 畳ほどの和室を、地域の皆さんが仕事やイベントなどに自由に使える場所として開放していく予定です。将来的にはキッチンなども整備し、飲み物や食事を楽しめる場所にもしていきたいと考えています。

浅田家が、単なる古い建物ではなく、志木の人たちが集まり、世代を超えて交流できる場所として、もう一度ゆっくりと息を吹き返していく。その過程を、地域の皆さんと一緒に

つくっていかねばと思っています。

本日は私の話を最後まで聞いていただき、本当にありがとうございました。

(紙面の都合上、一部内容を編集のうえ掲載しております)



9 月 は 「 基 本 的 教 育 と 識 字 率 向 上 ・ ロ ー タ リ ー の 友 月 間 」 で す



●出席報告 出席向上委員会 榎本秀夫
会員数 49 名 出席義務者 48 名 免除者 1 名
8 月のメイクアップ 8 月の平均出席率
4 名 84.23%